

第22回日本ゴム協会賞受賞候補者推薦のお願い

日本ゴム協会賞は本会創立60周年を記念して設定し、ゴム並びにその周辺領域における科学、技術又はその産業分野の発展に対し寄与の大きかった会員を受賞対象としております。このたび第22回の日本ゴム協会賞候補者の推薦を下記より受け付けますので、会員各位には広く候補者の推薦をお願いいたします。

推薦締切 平成21年11月30日(推薦用紙は、日本ゴム協会事務局あてご請求ください。)

推薦先 日本ゴム協会賞委員会

〒107-0051 東京都港区元赤坂1-5-26 東部ビル ☎03-3401-2957

日本ゴム協会賞受賞者選定規定(抜粋)

1. 日本ゴム協会賞(以下、本賞という)は日本ゴム協会創立60周年を記念して設立し、ゴム並びにその周辺領域における科学、技術又はその産業分野の発展に寄与し、その業績極めて顕著な本会会員に授与する。
2. 本賞の授与は、毎年1件とする。ただし、相応しい受賞者のない場合は授与は行わない。
3. 本賞の受賞候補者は、次のいずれかに該当する推薦人が本会会長あて所定の書式により推薦する、その締切は、授与される前年の11月30日(消印有効)とする。
 - (i) 本会会員
 - (ii) 本会各支部
 - (iii) 関連他学協会代表者
4. 会長は推薦候補者を次条に定める日本ゴム協会賞委員会に審議を委嘱し、同委員会は推薦候補者の中から受賞候補者を選定する。
5. 被推薦者は、委員及び臨時委員になることができない。
6. 委員会は、推薦候補者の中から受賞の価値があると認めたもの1件を委員長を除く全委員の無記名投票によって選定する。得票数が同数の場合は、委員長が決定する。
7. 委員長は、選定された受賞候補者を選定理由書を付けて3月10日までに会長に推薦する。
8. 会長は、委員会より推薦された受賞候補者を理事会に諮り決定する。
9. 本賞受賞者には、通常総会において表彰状及び賞金が授与されるが、委員長は、その総会において選考経過を公表し、日本ゴム協会誌に発表する。

(付 則)

本賞の賞金は、原則として本賞の基金より支出するが、団体並びに個人から受けた寄附金をもってこれをあてることができる。

2002.4.19 制定

推薦の参考資料

過去5年間の日本ゴム協会賞受賞者

- 第17回 北川裕一氏、斉藤 章氏、山田春夫氏、松田孝昭氏、服部靖郎氏
「シリカ配合用溶液重合SBRの開発」
- 第18回 該当者なし
- 第19回 和田孝雄氏、内田 守氏、服部高幸氏、榑 俊明氏、市川直哉氏
「低環境負荷型改質ゴムによる高性能タイヤの開発～石油外資源タイヤの開発～」
- 第20回 松尾繁美氏、平松二三男氏、永岡久幸氏、山下英市氏、守山五輪夫氏
「自動車用アクリルゴムOリングの高性能化」
- 第21回 山田隼男氏、北川紀樹氏、市野智之氏、高田十志和氏
「スルフィド系ゴム用シランカップリング剤の新規製法の開発と企画化」